

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	toiro戸塚		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	75	(回答者数) 50
○従業者評価実施期間	2025年 1月 1日		～ 2025年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 13
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での意見の交換や情報の共有が積極的に行われている。	朝礼・終礼を毎日実施することでタイムリーな意見交換が出来ている。 各教室にリーダー職員を配置することで、意見をまとめやすくしている。 月に一度管理者との面談を実施することで、上にも意見を出しやすい。	職員一人一人が専門的な知識や技術を学ぶことで、よりよい意見交換ができるようにする。
2	プログラムの内容がマンネリ化しないように工夫している。	職員だけで考えるのではなく、実際に参加をする児童にも意見を聞き、取り入れている。 まずは児童が楽しく参加できることを念頭にプログラムの作成を行っている。	保護者にも意見を聞き、プログラムに反映させていく。 支援目的を明確にしてからプログラムを考えることで、より良い支援を提供する。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流が少ない。	特定の施設とは関りがあるが、数自体が少ない。 日々の支援だけで手一杯になっており、地域との交流の機会を設定する余裕が持てていない。	まずは交流も持ちやすい施設や、既に関りがある施設との交流の機会を増やしていく。 公園の活動の時などに、地域の児童と施設の利用児童が関わる場面を提供する。
2	保護者同士の関わりの場の提供が無い。	保護者参加イベントは作っているが、児童の見学や職員と保護者の関りがメインになっている。 働いている保護者が多く、日中では参加が難しい。	保護者参加イベントの中に、保護者同士が関われる時間を設ける。 必要に応じて、夜の時間などに保護者会を設定する。
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		toiro戸塚				公表日 2025年3月10日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	定員に対しては適切。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	4		少ないわけではないが、より良い支援を考えるともう少し職員がいると安心できる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	3	イラストや写真を用いて、必要に応じて視覚化をしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2		壁紙の修復などが必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	4	状況に応じて個別で使い場所の用意をしている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13	0	各教室ごとのミーティングで実施している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	職員間での意見が言いやすい。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	13		実施できていないので今後必要と考える。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	12	1		研修は数多くあるが、現場を回しながらの参加に難しさを感じることもある。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12	1			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	各教室の担当職員が確認する時間が確保されている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	内容の検討を教室職員全員で行っている。	成長に合わせて柔軟に変化を入れたい。多種多様な職種の意見を反映させたい。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12	2		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	0	各教室ごとに終礼を行い、その日の振り返り等を実施する。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0	個別支援計画を元に、毎日の記録をつけている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12	1	お買い物のプログラムなどで自己決定できる支援が提供出来ている。	成長に合わせて内容の見直しが必要。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	13	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	5		関わりはあるがもっと濃い物にしていく必要がある。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	8	必要に応じて実施している。	もっと積極的に実施する必要性を感じる。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	5		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	13		参加できていない。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0	送迎だけでなく、保護者参加イベントなど見学の機会を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13	0	保護者参加のイベントを毎月開催している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13	0		

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	13	0		開催はしているが、頻度が少ない。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0		ブログなどで公開、発信をしている。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	9	4		地域の老人デイサービスセンターとの交流がある。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	3		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		全職職員参加のミーティングで実施している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13	0			